

# 令和2年度～5年度使用 小学校用教科用図書採択理由書

宮崎大学教育学部附属小学校

教科用図書名【 算数 】  
発行者名 【 啓林館 】  
教科書名 【 わくわくさんすう 】

<b>観点1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等</b>
<p>(1) 新しい知識・技能を獲得し、確実に身に付けることができるように、「練習」「たしかめよう」「もっと練習」などが設定されている。また、細かいステップの問題構成、難易度が段階的に変わる練習問題等、個に応じた指導にも配慮されている。道具の使い方や作図についても丁寧に提示しており、知識・技能が確実に身に付くよう十分に配慮されている。</p> <p>(2) 思考力・判断力・表現力を育成するために、図、表、式等が多く例示されている。また、巻末の「算数資料集」では「説明の仕方」「図の描き方」「思考法」について整理して紹介され、問題解決の際に生かせるようにしてある。</p> <p>(3) 単元末の「ふりかえろう」では、単元全体をふりかえる感想を書く場が設定されている。さらに「わくわく算数ひろば」等の様々な素材を扱った活用場面も設定され、獲得した知識・技能を活用していく機会も設定されている。</p> <p>(4) 系統性が分かりやすいように目次等に明記されている。また、第5学年を例に挙げると「小数のかけ算・わり算」「割合」「割合のグラフ」のように、「割合」の内容が複数の単元に分けられ、段階的に子どもが理解を深めることができる構成・配列の工夫がされている。</p>
<b>観点2 内容や指導の充実</b>
<p>(1) 子どもが主体的に学習を進められるように、学習の「めあて」が全ての時間に例示してある。その「めあて」も子どもの必要感に迫るものとするために、「学びのめばえ」として数学的な見方・考え方を働かせた考えや気付きとして、吹き出し等で強調された後に例示してある。また、何を学んだかが分かるように「まとめ」も例示されている。</p> <p>(2) 学びを整理し深めるノート指導に関して、問題解決的な学習の流れを示し、その流れに沿ったノート例を掲載するなど、今後の学習に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫がされている。</p> <p>(3) 統計的な問題解決能力の育成を目指して、「データの活用」領域においてはP P D A Cのプロセスに沿って学習が展開できるように構成されている。</p> <p>(4) 「割合」のつまずきを解消するため、つまり、数量の倍関係を正しく把握する技能が身に付くよう、第3学年から系統的な学習となるように工夫してある。</p> <p>(5) プログラミング教育が意識されており、「P」マークを付けることで、子どもも指導者も意識できるように配慮されている。</p>
<b>観点3 利便性の向上</b>
<p>(1) 全学年において教科書紙面のポイントとなる各所にQRコードを掲載し、学習の参考になる動画や補充問題等のコンテンツを授業や家庭学習で活用することができるように配慮されている。</p> <p>(2) 第1学年においては、学習の始めは、教科書に直接書き込むことを想定し、用紙の種類を変えることで子どもが書き込みやすくしたり、消しやすくしたりしてある。</p> <p>(3) 巻末の切り取り教具を用いて、子どもの数学的活動の充実を図るとともに、指導者が教具を準備する負担軽減も図られている。</p>
<b>観点4 地域の教育の特色や児童の実態等</b>
<p>(1) 神奈川県、北海道、東京都、山梨県、埼玉県、大阪府、大分県、広島県、島根県、石川県、岡山県、秋田県、長崎県、岡山県・香川県（瀬戸大橋）、広島県・愛媛県（瀬戸内しまなみ海道）、栃木県、沖縄県、長野県、新潟県、青森県、山形県、岩手県、福島県、兵庫県、奈良県、福岡県、愛知県、千葉県、京都府、佐賀県、和歌山県、静岡県、熊本県、山口県、富山県、高知県、…といった全国各地の名所等が題材として扱われており、児童の発達の段階に応じてその内容にも配慮されている。 （第6学年：大仙古墳、平等院鳳凰堂）</p> <p>(2) 6年の巻末には、キャリア教育の一環として、算数が様々な職業につながっていることが実感できるよう、社会で活躍している5名のインタビューが掲載されている。</p>

